

緘黙研修講座2018

# 場面緘黙の理解と支援

場面緘黙(ばめんかんもく)について、正しい知識と  
援助技術を学ぶための研修講座を開催します。  
多くの方のご参加をお待ちしております。

主催：日本緘黙研究会

[日時] 7月1日(日) PM14:00~PM16:30  
(PM13:30開場)

[会場] ウィンクあいち 小ホール2  
(愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38)

[対象] 保護者・教員・支援者・当事者・経験者・  
研究者等(高校生以下のご参加はご遠慮ください)

参加費2000円

定員250名

(事前予約制・当日受付でお支払ください)

●【基調講演】 藤田継道氏(兵庫教育大学名誉教授)

●【事例から学ぶ】 司会・解説:奥田健次氏(行動コーチングアカデミー)

事例提供:竹中 薫氏(ABAソリューション)

●【日本緘黙研究会のご案内】 高木潤野氏(長野大学)

お申し込み方法 (受付5月1日~6月29日)

\*定員になり次第締め切ります

日本緘黙研究会 研修講座ホームページの申し込みフォームリンクから  
または、直接申し込みフォームかにアクセスして行ってください。

●研修講座HP <https://mutism.jp/info/kenshu2018/>

●申し込みフォーム <https://ssl.form-mailer.jp/fms/Ofacc30f562515>

★申し込みフォームにアクセスできない場合は、[workshop@mutism.jp](mailto:workshop@mutism.jp) 宛にご連絡ください。



## 場面緘黙の理解と支援

### プロフィール紹介

#### 藤田 継道氏

現在兵庫教育大学名誉教授。兵庫教育大学、関西国際大学等において臨床心理学・行動分析学・障害児指導法等の教育・研究に従事。この間、臨床心理士を目指す院生とともに様々な障がいや困りごとをもつ子どもとその家族への支援を継続。

大会委員長を務めた2007年の日本特殊教育学会神戸大会で場面緘黙に関するシンポジウムを開催。以後毎年このシンポジウムを開催して今年で12回目となる。

2013年には日本緘黙研究会の設立を提唱し実現。場面緘黙の予防・早期発見・早期対応と予後について参加者の皆さんと考える機会を提供したい。

#### 竹中 薫氏

2004年兵庫教育大学大学院学校教育研究科修了。臨床心理士、認定行動療法士取得。在学中から奥田健次先生に師事、応用行動分析にもとづいた支援に取り組み、家庭訪問型発達支援のセラピスト、小学校・中学校のスクールカウンセラーとして障がいや不登校、困りごとをもつ子どもとご家族への支援に従事している。

今回は、家庭訪問型の支援で取り組んだ事例を通して、オーダーメイドで考える場面緘黙のアセスメントと援助、家族支援について紹介する。

### 場面緘黙とは？



家族や親しい人との間では、言葉を介してコミュニケーションをとれるにもかかわらず、学校、幼稚園や保育園、近隣などで、周囲の人たちとうまくコミュニケーションがとれないで、つらい思いをされている人たちがいます。

内気だから、人見知りだからというわけではなく、本人が話したくても話せなくなってしまう状態や特性を「場面緘黙」といいます。

潜在的にはかなりの数の当事者がいるのですが、教育や医療で、充分に対応されているとは言えない状況があります。

(日本緘黙研究会ホームページより)

### 会場までのアクセス (ウインクあいち 5F)

- (JR・地下鉄・名鉄・近鉄) 名古屋駅より  
JR名古屋駅桜通口ミッドランドスクエア方面 徒歩5分  
ユニモール地下街 5番出口 徒歩2分
- 名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より約6分

